

# 月刊 まち・コミ 2009年7・8月号

● インフォメーション ● <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>

台湾古民家移築への募金を呼びかけています。趣意書をご覧いただき、ぜひご協力をお願いいたします。移築の様子は毎日ブログで報告しています。

<http://machicomi.blog42.fc2.com/blog-category-2.html>



● 今月の注目記事 ● P1～P3 「まち・コミの歩み2008年4月～2009年3月」

## まち・コミの歩み — 2008年4月～2009年3月 —

今回の月刊まち・コミでは、2008年度のまち・コミュニケーションの活動を、年表で振り返ります。修学旅行生への震災体験学習や、兵庫県豊岡市出石町鳥居地区での市民農園支援、研修の受け入れや出張講演などの、長年続けてきた事業に加え、2004年から困難の連続でこう着状態にあった日台交流古民家移築事業が動きはじめました。

賛助会員やボランティア参加者など、多くの方々のご支援があって活動ができていることを、改めて感謝いたします。

まち・コミュニケーションのブログをほぼ毎日更新し、活動のご報告をしておりますので、インターネットをお使いの方はぜひご覧ください。

「まち・コミブログ」<http://machicomi.blog42.fc2.com/>



▲出石市民農園(専修大学のみなさん)



▲研修の受け入れ(京都大学防災研)

- 【08年】
- 4 / 10 宇和島行き（シアトル古民家移築）
- 4 / 16 雲中地区震災学習見学会（震災学習）
- 4 / 25 修学旅行生への震災学習書の部トータル12校
- 6 / 15 木材確認のため台湾へ（台湾古民家移築）
- 6 / 22 報告会（台湾古民家移築）
- 6 / 25 7月の訪台ボランティア募集開始（台湾古民家移築）
- 6 / 27 船橋市宮本自治会館（講演・田中）
- 6 / 27 日本大学生産工学部（講演・田中）
- 7 / 6 名古屋市昭和区防災街づくり講座（田中講演）
- 7 / 10 JICA研修「地方自治体と市民社会組織との協働関係」（特定非営利活動法人日本NPOセンター）研修受け入れ
- 7 / 20 27木材確認ワークショップのため台湾へ
- 7 / 16 宇和島町にある木屋旅館視察（シアトル古民家移築）
- 7 / 14 台湾訪問メンバーの顔合わせ（台湾古民家移築）
- 7 / 28 専修大学文学部人文学科社会学専攻「社会調査論実習」（研修受入）
- 7 / 29 竹筋コンクリート打ち合わせ（インドバイオトイレ）  
位牌の性根抜き
- 7 / 28 御蔵自治会館にある阪神・淡路大震災犠牲者の
- 7 / 21 古民家贈呈式（台湾古民家移築）
- 8 / 3 窪島誠一郎氏を訪問し趣旨説明（台湾古民家移築）
- 8 / 14 陳舜臣氏家族を訪問し趣旨説明（台湾古民家移築）
- 8 / 19 水上落子氏を訪問し趣旨説明（台湾古民家移築）
- 8 / 29 大阪府市町村社協職員連絡協議会（研修受入）
- 8 / 29 無言館視察（台湾古民家移築）
- 8 / 29 みくら5の物件売却可能性の件打ち合わせ
- 9 / 10 三田市立高齢者大学（講演・田中）
- 9 / 16 小林寺お参り（震災学習）
- 9 / 18 修学旅行生への震災学習秋の部 トータル7校
- 10 / 3 共生会（愛知県小牧市）（研修受入）
- 10 / 4 彦根大東町自治会（講演・田中）
- 10 / 17 四川被災地より劉世慶教授と大阪経済大学中小企業経営研究所・東アジアグループ&学生（研修受入）
- 10 / 26 修学旅行受入研修会（震災学習）
- 11 / 5 淡水鎮役所視察受入と交流会（台湾古民家移築）
- 11 / 9 安城市社会福祉協議会（講演・田中）
- 11 / 12 インドバイオトイレ勉強会
- 11 / 23 「いま、協同」を拓く2008全国集会「新潟」  
（講演・田中）
- 11 / 26 JICA中米地域防災対策コース（研修受入）
- 11 / 30 野島断層へ研修（震災学習）
- 12 / 2 JICA-NGO連携による実践的参加型地域開発  
コース(A)（研修受入）



▲ 08年4月25日  
震災体験学習の様子



▲ 08年7月21日  
台湾古民家移築事業の贈呈式

◆ 08年4月～6月 ◆

修学旅行生を中心とした震災体験学習は、8年目を迎えました。4月16日には、他の震災学習実施団体が実施している炊き出し体験がどのようなものか見てみたいと思い、神戸まちづくり研究所に依頼し、雲中（うんちゅう）地区の震災体験学習を見学に行きました。できる限り子どもたちにしてもらい、受け入れメンバーは見守るというやり方に、多くを学び、まち・コミの震災体験学習も子どもたちのペースに合わせるようになりました。（月刊まち・コミ2008年5・6月号参照）

古民家移築事業は、台湾への移築が4年の時を経て徐々に動き始めるとともに、愛媛県宇和島市にある木屋旅館をアメリカ・シアトルの日系社会の地域に移築するという話もほんの少し動き出し、宇和島にも足を運んでいます。

◆ 08年7月～9月 ◆

台湾への古民家移築が本格的になり、7月21日には台湾の台北縣台北市淡水鎮の役所にて贈呈式を行い、古民家の部材と水上勉文庫が淡水鎮の鎮長に渡されました。日本からも多くのボランティアらが式に出席しました。（月刊まち・コミ2008年8月号参照）

自治会館の仏壇に置いていた阪神・淡路大震災御菅地区での犠牲者のお位牌は、曹洞宗 小林寺さんに預けられているため（経緯は月刊まち・コミ2008年7月号の大地のつばやき参照）、震災体験学習を実施している語り部メンバーで、9月16日にお参りに行きました。

- 12 / 6 平成20年度「こうべまちづくり学校」
- 12 / 7 「災害に強いまちを目指して」  
専修講座まち歩き実践セミナー
- 12 / 12 防災科学研究所ヒアリング打ち合わせ(調査活動)
- 12 / 17 インドバイオトイレ打ち合わせ
- 1 / 11 【09年】  
「さいたま市民活動サポートセンター」(講演・田中)  
「地域の安全は誰が守る?見直そう地域の力」
- 1 / 13 小泉君(静岡大学大学院)インターンシップ
- 1 / 15 兵庫県自治研修所職員研修「現場から見た
- 1 / 16 山古志村支援委員受入(研修受入)
- 1 / 17 阪神淡路大震災追悼
- 1 / 18 古民家移築事業推進のため台湾へ  
(台湾古民家移築)
- 1 / 19 林錫郷さん主催の夕食会で台湾ニゴソの社長に  
日本人会の応援依頼
- 1 / 19 淡水鎮役所にて説明を受ける
- 1 / 19 台北県政府李副知事に応援依頼
- 1 / 31 開館15周年記念フォーラム「まちづくりの若き担
- い手、おおいに語る」(こうべまちづくり会館)
- 2 / 7 王さん(工務店)打ち合わせ(台湾古民家移築)
- 2 / 14 平成20年度高槻市コミュニティ活動推進研修会  
(講演・田中)
- 2 / 19 高津宮講演(講演・田中)
- 2 / 20 高津宮講演(講演・田中)
- 2 / 21 神戸市埋蔵文化センター視察(震災学習)
- 2 / 25 西成区弘治地域まちづくり研究会メンバー受入
- 3 / 5 「先進事例見学会」神戸市御蔵地区「まち・
- 3 / 19 貝塚市社会福祉協議会ボランティアセンター  
(研修受入)
- 3 / 19 淡水鎮入札開票(台湾古民家移築)
- 3 / 21 観音寺参り(震災学習)
- 3 / 22 インド、国際協力NGOソムニードにて研修
- 3 / 30 シアトルからトモリグチさん来御蔵  
(シアトル古民家移築)
- 3 / 30 まごころみくら総会にて解散決定(まごころみくら)
- 3 / 20 急がれる復興制度の備え 未曾有の不況と  
出版記念シンポジウム(講演・田中)  
「世界と日本の災害復興ガイド」



▲ 08年12月5日  
JICA 研修で世界各国から来られたみなさんと



▲ 09年3月  
インドバイオトイレ建設

◆ 08年10月~12月 ◆ → ◆ 09年1月~3月 ◆ →

多くの研修希望者がまち・コミに来てくださっています。どなたかからの紹介でまち・コミを知った人や、一度研修でまち・コミにやってきた人が、別のグループでの研修で再度来られることもあり、震災やまちづくりの経験を多くの人に伝えることで、それぞれの地域で役立てていただけるならうれしく思います。また、顧問の田中が講演にも呼ばれ、そこでも経験を伝えています。

駒沢大学の西村祐子教授が学生に呼びかけて実施しているインドでのバイオトイレ建設事業は、勉強会などを行い、インドの状況を知るとともに、意見を出し合いました。

1月11日に、8年ぶりとなるこうべiウォークが実施され、震災学習の受け入れメンバーで、豚汁の炊き出しをしました。

台湾への古民家移築事業は、3月19日に第1回目の入札開票(実際の業者決定は2回目の入札にて)が行われるなど、建設工事に向けて動き始めました。

3月はインドでのバイオトイレ事業を行うとともに、国際協力NGOソムニードにて研修を受けました。“気づき”を促す方法についてなどを学びました。まち・コミの今後につながる研修でした。



他地区で被災し、御蔵通6丁目で暮らす 南宏子さん

震災当時、林山町にある自宅で被災しました。その後、震災で家がなくなってしまった友達や、避難所にいた娘の友達とその家族、合わせて15人でその家に暮らしたんですよ。その年齢差は、下が3カ月で上が80歳。

そこでの生活に一番困ったのがお水。飲む水もいるし、トイレを流す水もいるからね。たまたまお風呂にお湯を残しておいていたから、それでトイレを流してね。水道管が破裂しているところを探して、家にあったペットボトルに水を入れて飲み水にしました。それでも、15人もいるから何日ももたない。なんたって、お風呂も入れないの。1週間越すとね、頭もすごく痒くて・・・一番酷かったのは、生まれて3ヶ月くらいの赤ちゃんがいたんやけど、ずっと水で洗ってやれないせいで、おしりが真っ赤になって、じゅくじゅくになってたんですよ。それを知ったときには涙がポロポロでてきました。水や物資はどこに行けば何をもらえるという情報もありません。あちこち探してやっとの思いで見つけても、みんなが集中して集まってくるからなかなかもらえない。・・・とても大変でした。結局、私の友達は行く所がなかったので3ヶ月くらい一緒に過ごしましたね。

横浜行った時に小学2、3年生の男の子が「どこから来たの?」って言うから、「神戸」って言ったんです。「神戸って日本の地図にあるの?」って言われてショックを受けました。知ってもらって何をしてもらおうとかじゃなくて、震災が起きたらこんなに悲しいんですよっていうことを知ってもらいたい。その時は私、まだ語り部をしてなかったんです。それで、やっぱり神戸を知ってもらうためには、これ(語り部)をしないといけないなと思いました。

修学旅行生に震災の話をするとな、興味をもって色んなことを聞いてくるんですよ。「震災が起こった時、何を持って逃げたらいい?」とかね。「どのようなことを心掛けているの?」って質問された時には、「枕元に懐中電灯、靴下、ラジオ、携帯を自分の取れる範囲において寝ることです」って答えました。「靴下はなぜ置いているんですか?」って聞かれた時には「ガラスの破片が飛んだ時のために」という話をしました。語り部を通じて、色んな子たちと仲良くなれるのはうれしいね。

語り部をしていて私自身気持ちにゆとりができました。同じ震災でもみんな経験したことは違います。伝えていけるだけで幸せです。人との出会いを大切に思います。

語り部を通して子供たちに伝えたいことは、一日一日を大切にしてほしいということです。自分の命も人の命もかけがえのないものだということを知ってもらいたいですね。私たちボランティアも、とにかく健康でありたいと思います。



【取材：専修大学 宍戸輝子 猪谷彰子】

## まち・コミ news



## 震災体験学習

## 2009年度春も無事終了

2001年から続けている震災体験学習は、今年で9年目を迎えました。毎年5月中旬から6月中旬までの予約が多く忙しい時期になりますが、今年は新型インフルエンザの影響を受け、キャンセルが相次ぎました。しかし、毎年来ている学校や、まち・コミでの震災学習を中心に関西での研修を計画していた学校からは、神戸に来るのを敬遠する傾向にある中でも、震災体験学習はぜひ実施したいというご連絡をいただきました。学校、旅行会社、まち・コミで調整した結果、語り部さんが子どもたちの宿泊先に向いて震災学習を行ったり(写真)6月下旬や秋に日程を変更するなどし、春の震災学習受け入れも無事終了しました。

震災体験学習を実施する意義を再確認するとともに、より充実した震災学習にしていきたいと思いました。(戸)



宿泊先に向いての震災講演

(2009年5月17日 高知市立大津小学校)

## 大地のつぶやき

## 古民家移築の現状と募金のお願い

台湾淡水鎮での古民家移築が佳境に入っています。福井県大飯町岡田村で四週間の合宿解体をして丸五年。当時台湾から五人の助っ人が加わり、日本の若者が大いに刺激を受けた。参加したボランティアはのべ約千二百人。日本語、英語、中国語が専門用語を交えて飛び交う中、誰一人ケガすることなく成し遂げ、最後に誰言うともなく『今度は我々が加勢して台湾で建てよう』と。若者の意気に打たれて台湾での土地探しに悶々として四年経過した。

昨夏、淡水鎮長蔡葉偉さんから平和記念公園の一角に特別な記念性建築として受けようとなり、古材の贈呈式を行った。今年二月に地鎮祭を行う。五月に業者が決定し、古材が現場に運び込まれ、丹波の斉藤、細見両棟梁が六月八日より渡台し、刻みにかかり、七月に入って阿波の宮田工房宮田社長、森田さん、曾江さんが助っ人として旬日を費やして、七月十日に上棟式を行う。台湾の学生ボランティアらも一日最大二十六人も工事に関わった。今は左官の渋谷親方が弟子の木山さんを率いて出張り、日本から応援の専修大学の齊藤、信田、少し遅れて参加の神戸大学の貫名君、解体時十五才の少年であった明石高専専攻科の秋田君が入っている。これに盆明けに専修大学大矢根先生を筆頭に、宮下、尾田、天野、川島、吉村の専修大生学生が加わる。まち・コミ代表の宮定君は常駐で中国語、日本語、英語を駆使して学生と一緒に汗をかくて完成を目指して懸命です。

限られた資金ではどうもいなし得ないこのプロジェクト。出来上がった空間には水上勉文庫、陳舜臣文庫も入ることになっている。台湾の学生ボランティアが日本の棟梁や大工さんから日本の伝統工法である軸組工法、刻みや規矩術、継ぎ手、仕口、そして左官さんから土壁、漆喰上塗の左官工法、小舞編みや、壁土にわらをすき込んで腐らす意義を教えてもらっている。これぞ真の国際文化交流だろう。覚治棟梁若き日の作品が日台の協力のもと九十年を経て再度花を咲かそうとしている。環境重視の二十一世紀、市場経済に乗らないがゆえに価値あるものと思えます。どうか資金不足にご協力を！

株式会社兵庫商会 田中保三

# まち・コミ活動報告

6/1 ~ 7/31

- |                                    |                                   |                           |
|------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------|
| 6/6・7 出石市民農園                       | 6/25 月刊まち・コミ発送作業                  | 7/19 出石市民農園               |
| 6/8 台湾渡航(古民家移築事業)<br>(大工・建築士・まちコミ) | 6/27 岐阜県桑原コミュニティー<br>センターにて講演(田中) | 7/25 出石市民農園               |
| 6/14 出石市民農園                        | 6/29 岡山市立東山中震災学習                  | 7/27 まち・コミ運営委員会           |
| 6/20 専修大学調査論合宿打合せ                  | 7/3 神戸学院大学<br>社会貢献ユニット研修受入        | 7/28 防災科学技術研究所<br>ヒアリング同席 |
| 6/21 訪台(田中・宮定)                     | 7/5 出石市民農園                        | 7/30-8/1 専修大調査合宿受入        |
| 6/24 防災科学研究所<br>ヒアリング打ち合わせ         | 7/12 出石市民農園                       | 7/30 水上落子氏へ<br>台湾古民家状況説明  |

ご支援、ありがとうございます。

6/1 ~ 7/31

- 賛助会員(新規・継続)** 横田尚俊(山口県) 後藤裕臣(愛知県) 伊藤勝(千葉県)  
 麻生克郎(兵庫県) 小林郁雄(兵庫県) 大橋良雄(愛知県) 大久保洋子(兵庫県) 北野正一(兵庫県) 末正盛隆  
 (兵庫県) 加藤洋一(兵庫県) 文貞實(岐阜県) 鈴木和博(新潟県) 北島繁昭(埼玉県) 笹岡賢司(静岡県)  
 桂光子(兵庫県) 舟橋國男(大阪府) 熊田俊郎(東京都) 鮫島和夫(長崎県) 高見沢邦郎(東京都) 津田四郎(兵  
 庫県) 中山貴美子(兵庫県) 王柏群(兵庫県) 下土居希(東京都) 増永理彦(兵庫県) 根本暁生(宮城県)  
 田中邦彦(兵庫県) 松原永季(兵庫県) 高橋祐子(大阪府) 室崎益輝(京都府) 池田寛(香川県) 樽本憲昭(兵庫  
 県) 西條遊児(兵庫県) 陳浩明(大阪府) 関口千鶴子(兵庫県) 谷川一成(兵庫県) 遠藤淳子(東京都) 益子安正  
 (千葉県) 大牟田智佐子(大阪府) 原田元基(兵庫県) 佐藤道昭(秋田県) 竹内千恵子(兵庫県)  
 寄付 澤田修一郎(京都府) 東充(兵庫県) 清水光久(兵庫県)  
 協力  
 社団法人シャンティ国際ボランティア会(東京都) 株式会社兵庫商会(兵庫県) 【順不同・敬称略】

## 新規賛助会員募集&更新のお願い

まち・コミでは、さらに活発に活動を行うため、  
 賛助会員を募集し、金銭面でのご支援をいただ  
 いております。会費は、事業推進のために活用させて  
 いただきます。賛助会員のみなさまには、会員特  
 典をご用意しておりますので、ぜひ賛助会員への  
 登録をお願いいたします。

また、賛助会員は1年更新とさせていただいて  
 います。現在賛助会員の方も時期がきましたら、  
 更新をお願いいたします。(期限は、「月刊まち・  
 コミ」郵送時の封筒の、宛名の下に記載していま  
 すので、ご確認ください。)

### 会員特典

- 本誌「月刊まち・コミ」の送付。
- まち・コミュニケーションに関する、Eメール  
での情報送付、WEBの特別ページの参照

よろしくおねがいいたします。

編集後記 台湾への古民家移築交流事業が、  
 着々と進み、台湾や日本のボランティアが大勢参  
 加し、作業交流しています。応援よろしくお願  
 いたします。(戸)

### 年会費

- 個人・法人 年間5000円
- 学生 年間3000円

### 郵便振替口座番号

00950-3-42788

### 口座名称

「まち・コミュニケーション事務局」

2009年8月1日発行  
 編集/発行 まち・コミュニケーション  
 定価 100円  
 御蔵事務所 〒653-0014  
 神戸市長田区御蔵通5-5  
 TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961  
 東京事務所 〒162-0052  
 東京都新宿区戸山1-24-1  
 早稲田大学文学部浦野研究室内  
 神奈川事務所 〒214-8580  
 神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1-1  
 専修大学文学部大矢根研究室内  
 e-mail m-comi@bj.wakwak.com  
 URL http://park15.wakwak.com/~m-comi/